

みどりボックスWi-Fiモデル設定用シート

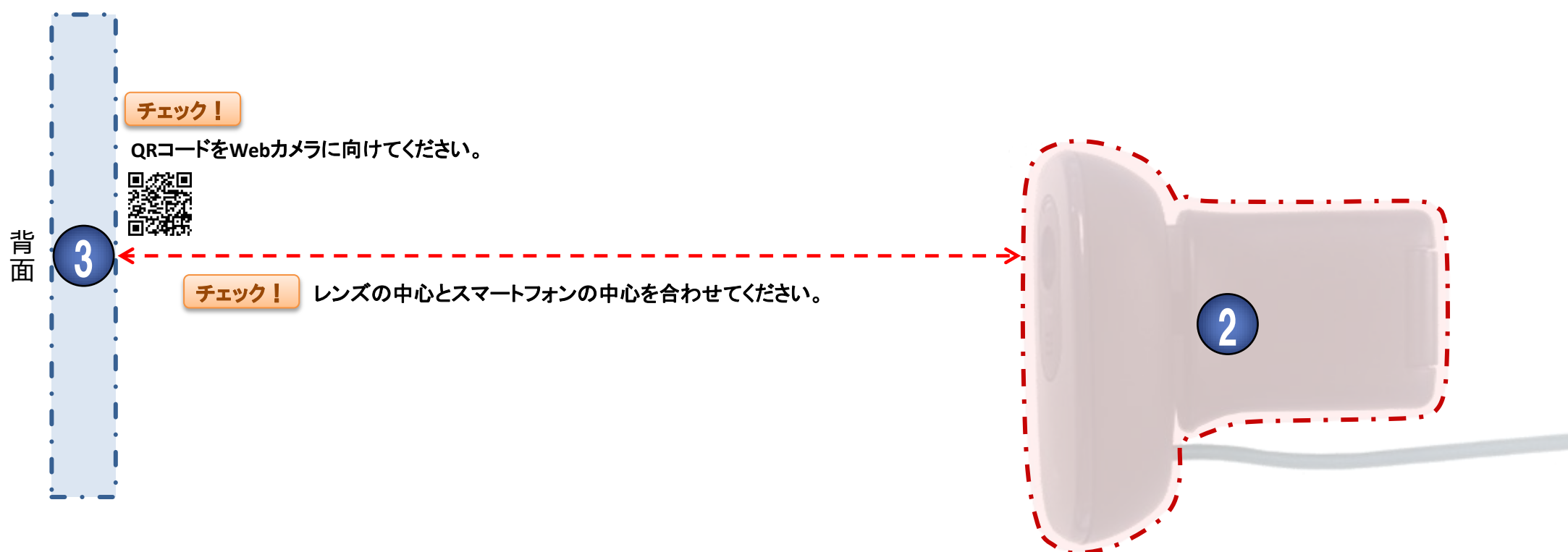
先にみどりモニタ(アプリ)で動画を最後までご覧ください。

1 みどりモニタ（アプリ）を使用してスマートフォンにQRコードを表示します。

2 Webカメラを下の赤い枠に合わせて置きます。

3 スマートフォンを下の青い枠に合わせて置きます。

4 みどりボックスのボタンを1回押します。



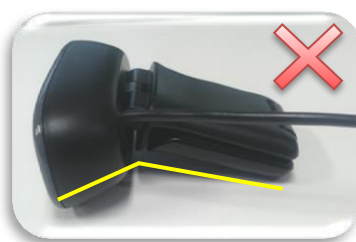
チェック！

光の反射を防ぐため、Webカメラ側に傾けてください。

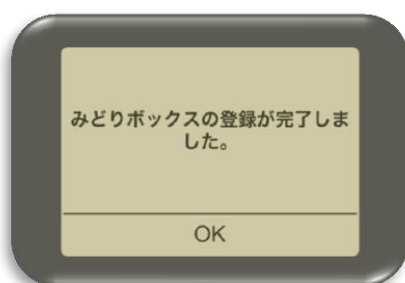


チェック！

Webカメラを上から押して、折曲部が平らになるようにしてください。 Logicoolのロゴが読める向きに置いてください。



5 登録が完了すると画面に通知が表示されますのでOKボタンを押してください。これで設定は完了です。

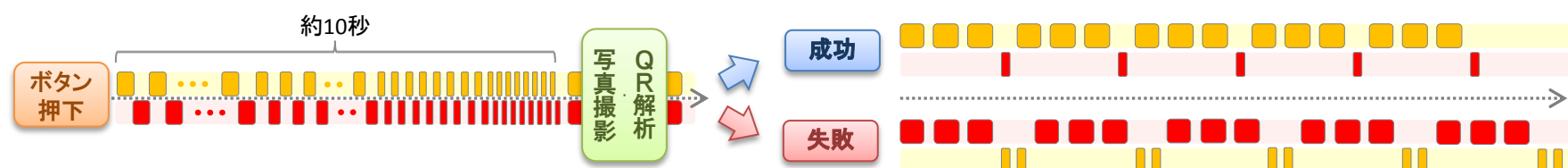


登録がうまくいかない場合は裏面を確認してください。

みどりボックスWi-Fiモデル設定用シート

この面は裏面です。最初に表面の手順を確認して下さい。

● LEDランプが両方点灯した後の点滅状態を確認します。



赤と黄色のLEDランプが両方点灯している間に写真撮影とQRコードの解析を行います。
LEDランプが消えた後、上図のどちらかのパターンで読み取り結果を表示します。

上図のパターンを確認して **成功した場合** または **失敗した場合** に進んでください。

※設定を変えながら撮影と解析を何度か繰り返すため、失敗が続いた場合は点灯状態が最大で1分30秒程度つづきます。

成功した場合

黄色が3回、赤が1回の点滅を5回繰り返して成功の表示が終わってから、5秒ほど待った後の黄色のLEDランプの状態を確認してそれぞれの対応方法を試してください。

【LEDランプが消えている】

無線LANへの接続に失敗している状態です。

- **入力情報が誤っている**
QRコードを表示する前に入力したネットワーク名(SSID)とパスワードが間違っている可能性があります。入力内容に誤りがないか確認してください。
また、非公開の無線LANの場合は公開設定欄で「非公開」を忘れずに選択してください。
- **接続先の無線LAN規格が異なる**
みどりボックスのWi-FiアダプタはIEEE802.11a(5GHz帯)には対応していません。Wi-Fiルータの説明書などを確認してIEEE802.11n/g/b(2.5GHz帯)のネットワーク名を使用してください。
- **無線LANの電波が届いていない**
無線LANの親機までの距離が遠かったり、壁などの遮蔽物が原因で電波が届いていないか弱すぎると接続ができません。(スマートフォンでは接続できていても、みどりボックスが接続できないこともあります。)
無線LAN中継器を使用して電波強度を上げたり、モバイルルーターの導入をご検討下さい。

【LEDランプが早い点滅をしている】

ネットワーク名とパスワードは正しく入力されて無線LANには接続できていますが、インターネットに接続できていない状態です。

- **無線LANの接続先機器を再起動する**
接続先のWi-Fiルータを再起動してください。再起動の方法は機器の取扱説明書を確認して下さい。(多くの機器は電源コードの抜き差しで再起動が可能です。)
- **インターネットに接続できるか確認する**
同じ無線LANにパソコンやスマートフォンを接続して、インターネットに接続可能かどうか確認して下さい。
他の機器がインターネットに接続できている場合には、みどりボックスの電源ケーブルを抜き差しして再起動してください。

【LEDランプがゆっくりと点滅をしている】

正しくインターネットに接続できています。
みどりクラウドのサーバとの通信に失敗をしていますので、再度ボタンを押してQRコードの読込を行ってください。

失敗した場合

QRコードを読み取れない原因がいくつか考えられます。
以下の点を確認して再度表面の手順で登録してください。

- **画面の明るさ**
設定を確認して明るくなっている場合は少し暗く、暗くなっている場合は少し明るくしてみてください。
- **スマートフォンの傾き**
スマートフォンがまっすぐに立った状態の場合、太陽や照明などの光源が写りこんでしまい、QRコードが認識できないことがあります。Webカメラ側に傾ける量を加減してみてください。
- **Webカメラとスマートフォンの位置**
Webカメラとスマートフォンがまっすぐ正面を向き合うようにしてください。少しずつずれていることで大きなずれになることがあります。また、カメラのレンズとスマートフォンの中心があっていることを確認して下さい。
- **手の写り込み**
スマートフォンの持ち方によって手や指がWebカメラの邪魔をしてしまうことがあります。ボタンを押したら写らないように注意して撮影してください。